

萩の郷

No.120

2025.2.8発行

発行者：下市田区
発行責任者：北沢文治
印刷：龍共印刷株式会社



Eスポーツや正月の遊び

新春お楽しみ会 市田柿に親しむ企画も

下市田区と下市田支館は1月19日、区民会館で新春お楽しみ会を開催しました。新たに人形劇やEスポーツ、正月の遊びを加えて盛りだくさんな内容になり、約180人が集まる大盛況でした。

最初の人形劇は高森町で活動している劇団「あ・じゃ・ぱあ」が「しあわせハンス」を上演しました。続いて下市田史談会の松上清志会長に市田柿と正月行事についてのお話をいただきました。

メインのゲーム大会ではEスポーツの「太鼓の達人」と「ぷよぷよ」、正月の遊びのたこ揚げ、こま回し、羽根つき、さらにオセロ、将棋などを用意し、時間いっぱい好きなところで自由に遊んでもらいました。Eスポーツのブースでは中学生応援ボランティア3人がサポート係として活躍してくれました。

また「市田柿発祥の里」にふさわしく市田柿を使う企画を考え、今回はその手始めとしてチョコ市田柿作りを行いました。おやつコーナーでは大鍋でおしるこを作り、参加者に振る舞いました。

自治会加入世帯の減少傾向が続く中、区では今年度、運営委員会を設置して組織機構や活動全般の見直しを進めています。コミュニティ事業は子どもからお年寄りまで多くの方に参加してもらい、自治会活動への理解を広げることを目指します。今回は育成会やPTAを通じて未加入世帯にもお知らせを流し、チラシにQRコードを付けてスマホから個別に申し込みができる形にしたところ多くの申し込みがあり、今後への弾みになりました。

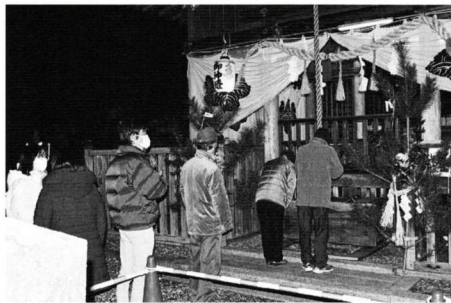


区の情報について 助け合えるつながりを

区長 北沢 文治

新年、明けましておめでとうございます。初日の出も輝く穏やかな元旦を迎え、新たな希望を抱いて新年を迎えられたことと存じます。さて、昨年の元日に発生した能登半島地震から1年が過ぎました。その間に豪雨災害も発生し、能登半島では大変な1年でした。未だに復興も見えず不自由な日々が続いています。この地域でも南海トラフ地震が心配され、改めて様々な対策と防災意識の向上を考えなければなりません。

そんな中、やはり地域の



萩山神社の二年参り

皆様の繋がりが重要になります。いざと言う時は近所の皆様と、助け合って危機を乗り越えて行かなければなりません。私だけは大丈夫、人の助けを借りなくても生きて行けると考えていませんか。最近高齢を理由に、自治会を抜ける方がいらつしゃいますが、孤独にならず、お互いに支え合って楽しく暮らしましょう。下市田区では2月に防災意識を高めて頂くための防災研修会を予定しています。

下市田保育園の改修は2月末の竣工検査に向け工事が進められています。卒園式は新しい園舎で行う計画です。一般向けの内覧会も予定されています。

今後は2月に地元出身の町議会議員との懇談会、3月の萩山神社春祭りは昨年同様、盛大に実施出来るように進めています。皆様のご協力をお願い致します。

中間決算の監査

下市田区、公民館下市田支館、萩山神社の令和6年度中間決算の監査が10月18日に行われました。3人の監査委員による監査の結果、いずれも適正と認めら



監査委員が中間決算を監査

令和6年度 下市田区一般会計中間決算

(令和6年4月1日～令和6年9月30日)

収入額 22,348,660円
支出額 9,856,185円
差引残高 12,492,475円

【収入の部】

(単位：円、▲は減)

科目	予算額	既収入額	比較増減
前期繰越金	11,095,877	11,095,877	0
区費	14,590,000	7,567,970	▲ 7,022,030
町支出金	6,642,000	1,660,350	▲ 4,981,650
財産収入	1,110,000	738,622	▲ 371,378
地元負担金	131,000	0	▲ 131,000
消防協力金	1,450,000	500,000	▲ 950,000
諸収入金	678,000	727,841	49,841
繰入金	0	0	0
区費過多入金	-	2,000	2,000
個人負担金	-	56,000	56,000
収入合計	35,696,877	22,348,660	▲ 13,348,217

【支出の部】

(単位：円、▲は減)

科目	予算額	既支出額	比較増減
総務費	12,637,000	5,166,074	▲ 7,470,926
環境衛生費	570,000	105,400	▲ 464,600
林務費	1,010,000	202,975	▲ 807,025
土木費	1,130,000	503,050	▲ 626,950
水利費	6,690,000	357,606	▲ 6,332,394
防災費	2,180,000	328,850	▲ 1,851,150
公民館費	2,000,000	1,000,000	▲ 1,000,000
予備費	9,479,877	2,134,230	▲ 7,345,647
繰出金	0	0	0
返金	-	2,000	2,000
個人負担金	-	56,000	56,000
支出合計	35,696,877	9,856,185	▲ 25,840,692

令和6年度 公民館下市田支館中間決算

(令和6年4月1日～令和6年9月30日)

収入額 2,926,706円
支出額 1,886,536円
差引残高 1,040,170円

【収入の部】

(単位：円、▲は減)

科目	予算額	既収入額	比較増減
繰越金	1,513,068	1,513,068	0
区支出金	2,000,000	1,000,000	▲ 1,000,000
町支出金	400,000	410,300	10,300
雑収入	1,000	3,338	2,338
収入合計	3,914,068	2,926,706	▲ 987,362

【支出の部】

(単位：円、▲は減)

科目	予算額	既支出額	比較増減
総務費	1,960,000	742,340	▲ 1,217,660
事業費	1,790,000	1,133,196	▲ 656,804
広報費	22,000	11,000	▲ 11,000
予備費	142,068	0	▲ 142,068
支出合計	3,914,068	1,886,536	▲ 2,027,532

れました。自治会加入世帯の減少に伴って次第に財政が厳しくなってくる中、監査委員か

らは、区と自治会あわせて効率化や事業選択を検討することが必要という意見が出されました。

高森ふるさと祭りハロウィンFes

下市田のおしるいに行列

昨年10月26日に開催された町の第42回高森ふるさと祭り、下市田区は今回も恒例のおしるい無料サービスを実施しました。

おしるい作りは今回も分館長・分館主事が担当。2年目の人が多かったためスムーズに進み、午前中に大鍋4杯、午後に大鍋2杯のおしるいを作りました。

テントでのサービスは主に支館部員が担当。揃いの赤いエプロンとバンダナにハロウィンの三角帽子や飾りを身に着けました。開店後はほぼ途切れることなく



行列ができてスタッフは大忙し

お客さんが訪れ、正午過ぎには見込み通り1000食の提供が終わりました。

昼食休みをはさんで午後500食を提供し、2時前に品切れになりました。

ふるさと祭りはハロウィンがテーマで仮装コンテストも実施。北沢区長と光沢副区長はアニメキャラの仮

区三役と代議員
研修旅行で親睦

旅行幹事 佐々木 茂(区)

代議員の研修旅行を10月14、15日に行いました。区三役を合わせ15人が参加し、伊勢志摩の旅を楽しみました。

計画の段階から、2024年問題や修学旅行の時期で、バスはあるが運転手不足で、やっと中型バスが確保でき、実施できました。

1日目は曇り空でしたが、連休の最終日ということもあり中央道も混ん



(右から)区長と副区長のコスプレ

装で参加し、特に北沢区長は途中で着替えて何種類もコスプレする力の入れようでした。

ました。東海環状自動車道を経て伊勢自動車道に向かいました。松阪市で昼食の後、伊勢神宮にお参りし、参加者の健康と下市田区の発展を祈願しました。おかげ横町を散策し、その日は伊勢市に宿泊しました。

2日目は低気圧の影響で小雨が降るあいにくの天気でした。海鮮ショッピングの後、太平洋を臨む志摩市の大王崎灯台に向かいましたが、大雨のため見学をあきらめました。

道の駅で休憩をとった後、鳥羽市南東部の相違へ

二年参り竹灯籠
新作も多数加え

「あかりを灯す会」(木下富由会長)は今年も二年参りに合わせて菰山神社の参道に竹灯籠を飾りました。

12月に竹灯籠を作る会を開催。以前から続けて参加している親子はより難しいデザインに挑戦し、慣れた手つきで電動ドリルで穴を開けていました。

完成した竹灯籠は晦日の朝から参道に並べ、午後



賑やかに伊勢志摩の旅

向かいました。以前は民宿で賑わっていたところですが。神明神社の境内にある「石神さん」は昔から「女性の願いなら一つは叶えて

11時半に一斉に点火。凝ったデザインの新作が増え、二年参りに訪れた参拝者の目を引いていました。



竹灯籠のデザイン一層多様に

くれる」と言われて海女さん達の信仰を集め、全国から多くの女性が参拝に訪れるそうです。

昼食は海女小屋「はちまんかまど」で海鮮バーベキューを賞味しました。伊勢エビや鮮魚などの豪華な海の幸を海女さんの手焼きで焼きたてを食べることができ、幸せでした。

帰路は車中でカラオケなどで賑やかに過ごしました。代議員相互の親睦を深めることができ、今後の自治会運営にも活かされるものと思います。

前年度より1歩進んで 各分館コミュニティ事業

4区分館

避難所運営学ぶ

分館長 玉置淳一

今年度も4区分館あい
広場は防災講座、ソフト

フィットネス講座の2本立
てで9月23日に開催しまし
た。

防災講座では、昨年度の
4区分館の被災可能性につい
て知ることから一歩進め

1区分館

サツマイモ収穫

分館長 山本智治

したり、いろいろな方法で
サツマイモ掘りを楽しみな
がら行っていました。小さ
いイモから大きなイモ、ゴ

下市田1区分館では、6
月に遊休農地にサツマ
イモの苗を200本植
えました。親子で植え
た苗が育ち、収穫でき
る状態になりました。
収穫には親子50人ほ
どが参加しました。当
日は天気があまり良く
なく雨の予報でした
が、始まった頃に少し
降られた程度で、予定
通り行うことができました。
つるを子どもが引っ
張ったり親子で土を
掘ってサツマイモを探



親子で楽しくサツマイモ掘り

3区分館

ペタンクに歓声

分館長 上村敏幸

3区分館では前年度に引
き続きペタンク大会を開催
する運びになり、11月24
日、高森ドームにて行いま
した。
当日は絶好の大会日和。
参加者は小学生を含め28名

ツグツグしたものまで、い
ろいろな形のイモを両手で
持つ、「サツマイモ、取った
どー!」と高々と掲げて喜
んでいました。
今後親子で参加できて
笑顔が見られる、そんな行
事を計画していきたいと思
います。

て、能登地震の救援にも参
加された防災士の宇佐美智
也氏、上野真由氏をお迎え
し、震災後の避難所の運営
や便利な防災グッズの紹介
展示、EV電源の活用の実
演、非常食の提供など万が
一の被災後の避難生活の具
体的なイメージが持てるお
話をしていただきました。
ソフトフィットネス講座

で、6チームに編成。自治
会長のあいさつと分館部長
の競技ルール説明があり、
準備運動をして、それぞれ
コートに分かれ、試合が始
まりました。試合進行は役
員、点付けは各チームで
行っていたできました。
試合が始まると、3コー
トとも「惜しい!」「しまっ
た!」と大歓声があがり、和



防災グッズを紹介



避難所の様子をイメージ

では、女性のライフスキル
研究家・助産師の宮澤恵子
氏をお迎えし、家庭で行え
るリラクゼーションやスト



家庭でできるストレス解消のストレッチ

気あいあいと楽しく行わ
れ、コミュニケーションの
取れた大会になりました。
各チームとも3試合行
い、結果発表を行い終了。
みなさん笑顔で楽しそうに
帰られ、大成功でした。
前年度より参加人数が増
えましたが、来年度も1人
でも多くの方が参加され
ることを望みます。

レス解消のためのストレッ
チについてトークを交えて
ご指導いただきました。

6区分館

おやすと門松作る

分館長 中垣裕彦

12月15日に毎年恒例のおやす作りを実施しました。10名余りのお子さん達に集まっていただき、高寿会の皆さまからの指導によりおやす作りを行いました。

毎年参加していても一年経つと作り方を忘れてしまうもので、最初はワラを握りしめる手もおっかなびっくり



高寿会の指導で

くりの様子でしたが、要領をつかむと手の動きもスムーズになり、思い思いの大きさのおやすが出来上がりました。きつとお家の方も自分の子どもが作ったおやすを受け取り喜んでいました。



ミニ門松や竹灯籠も

だいたったことと思います。また、地元有志の方からの指導で、例年好評いただいている「ミニ門松」作りに加えて、今年は「竹灯籠」作りにもチャレンジしました。電動ドリルで無心

5区分館

おやす作り講習

分館長 小川喜也

下市田5区では前年に続き、12月15日におやす作り講習会を行いました。前日までに用意した松と



グループで協力して作り上げる

2区 笑顔を増やそうプロジェクト

分館から実行委員会に移行

分館長 蜂谷昌幸

2区では11月23日、下2会館で「笑顔を増やそうプロジェクト」が開かれました。

コロナ禍の中でもみんな楽しんでるものと始まった「笑顔を増やそうプロジェクト」、今回は2区にとって記念すべき特別なものとなりました。それは、この企画が分館の手から有志による実行委員会に移ったことです。

回を重ねるごとに楽しみにしてくれる方が増えてきた笑顔プロジェクトですが、分館として今後も続けていくことに難しさを感じていたところ、「それじゃあ実行委員を募ってやろう」ということになりました。実行委員長に「笑顔」の発案者の前分館長、ほか7人の方が実行委員に手を挙げてくれました。また町から補助金がもらえること



ギター伴奏に合わせデュエット

になり、2区だけでなく他地区の方にも来てもらえるように広報しました。

飯田下伊那を中心に活躍する音楽グループ「心詩」によるコンサートには、他地区の方も含め50名を超え



歌声に聴き入る参加者たち

る方々が来てくれました。桑原利彦さんの巧みなギター伴奏と奈葉さん、華歩さんの透き通るような歌声に、みんなが聴き入り、一緒に歌い、素敵な時間を共有することができました。

中には四苦八苦している子どももいましたが、協力しておやすを作り、幣束とともに松に取り付けて完成することができました。

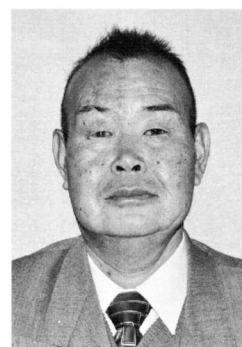
中学生から小学生へ、高齢者から若いお父さん、お母さんへと、この行事が受け継がれることを願います。

荻山郷土芸能保存会

獅子曳き今年も通常行程で

就任あいさつ

幹事長 西村芳夫



12月より保存会幹事長を務めることになりました。新型コロナウイルスにより令和2年から3年間、春祭りが中止になりましたが、一昨年、規模縮小の形ではありましたが、4年ぶりに獅子曳き、

獅子屋台が繰り出し祭りをを行うことができました。そして昨年、皆様のご協力をいただき、5年ぶりに通常の行程で行うことができました。

今年も昨年同様に通常の行程で行う計画を進め、地区幹事を中心として準備を進めてまいります。自治会、公民館はじめ祭りにご協力いただく皆様方にはご苦労いただくわけですが、よろしくお願いいたします。そして、春祭りが地域の皆様のつながりの場であり、

令和7年 萩山神社春祭り日程

- 3月15日(土) 稽古始め
 3月23日(日) 屋台等準備作業
 3月28日(金) 稽古納め
3月29日(土) 宵祭り
 14:15 荒神社出発
 15:30 安養寺到着
3月30日(日) 本祭り
 11:00 出砂原お祭り広場公演
 13:10 パース駐車場公演
 14:45 安養寺出発
 区民会館
 16:30 萩山神社到着

続けるよう、長い歴史の伝統を皆様のご協力をいただきながら伝承していきたいと思っております。よろしくお願いたします。

令和6年度
幹事のみなさん

幹事長	西村 芳夫	2区
副幹事長	中原 真樹	4区
同	熊谷 健	4区
会計幹事	上沼 太一	1区
同	倉沢 健司	2区
副品幹事	熊谷 力	5区
同	久保田裕生	1区
総務幹事	坂井 孝行	3区
同	岡村 良明	6区
同	巻井 康太	3区
同	牧内 敏也	5区
獅子部 部長	宮入 正男	2区
同 副部長	市岡 義久	2区
同	川手 美幸	1区
獅子部 部長	宮島 正樹	3区
同 副部長	仲平 豊実	3区
同	上沼 俊亮	3区
同	佐々木 健	5区
獅子曳き部 部長	林 俊一	2区
同 副部長	三浦 智	6区
相談役	三浦伊佐夫	3区
本会計	壬生 清重	1区

下市田史談会6年ぶり研修旅行

「縄文のビーナス」と対面

会計 宮下明子

市田柿の収穫が近づく10月22日、5年越しの計画が実現する茅野・諏訪方面の史談会研修旅行があり、区役員のみなさんも加わり24名の参加で実施しました。茅野市の尖石遺跡から出土した国宝土偶「縄文のビーナス」と「仮面のビーナス」にじっくり出合い、5千年前の文化と集落の営みを再認識しました。団体だったので学芸員さんが説

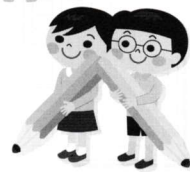
明してくださり、いま現在の追点などをお聞きし、またとない機会でした。昼食前に蓼科バラクライングリッシュガーデンに寄り、秋色の庭を堪能しました。午後は茅野市宮川地区にある神長官守矢史料館を訪れました。ここは古代から明治初めまで諏訪神社の神長官を務めた守矢家の文書を保管・公開していて、初



「縄文のビーナス」と念願の対面

めて目にするものも多く、会としては興味ある見学でした。また史料館の建物は地元出身の建築史家・藤森照信氏が設計した斬新な形体で、地元資材を使用した味わいがありました。その近くには「空飛ぶ泥船」など藤森氏の造形作品群があり、堅穴式茶室「低過庵」にはお客さんグループが入っていて、中からの操作で急に屋根が移動し、近くにて驚きました。午前8時集合、午後4時解散のゆったりスケジュールで他地区が学べ、心地よい旅でした。参加者が多かったため個人負担が予定より安く済み、降車時に返金もあつてニコニコ顔で帰宅しました。

わたしの作文 ぼくの作文



サイクリング継続

中1 細田 真(まこと) 6区

僕が今頑張っていることはサイクリングです。元々健康のために始めて、家でしばらく使われずにいたロードバイクを整備し、今は習い事への往復や、路面が凍結していない日はサイクリングをしています。

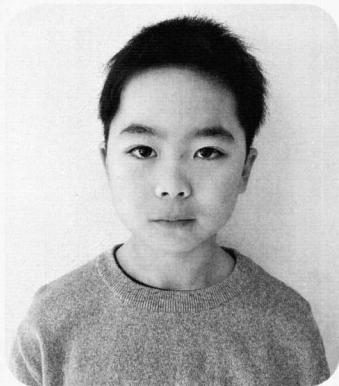
その結果、今では市田駅から飯田駅まで走るようになりました。日が昇る前に景色が見渡せる場所で見

4月から6年生

小5 宮嶋 松杜(かいた) 1区

ぼくは4月から6年生になります。6年生になると学校をつくるリーダーなので、自分から動いて新しい学校をつくっていきたいです。そのために新しい1年生にやさしく案内をしたり手伝ったりしたいです。

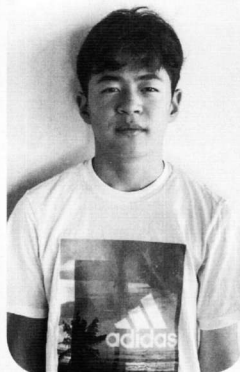
ぼくが今がんばっていることは野球です。6年生が退団すると、ぼくたちは6年生になって試合を1年間



日の出は絶景でした。

このようにサイクリングを約1年ほど続けていたら、脚に筋力がつき、歩くのが速くなったことで、学校の登校に必要な時間が短縮されました。

前よりも健康的になったので、これからも継続していきたいです。



区民会館の大掃除

年末12月14日に区三役と代議員で区民会館外回りの大掃除を実施。続いて22日



2階の窓もきれいに

はまっている読書

中3 塩沢 佑太(ゆうた) 2区

僕が今ハマっていることは読書です。図書館で借りたり、買ったりして、休み時間や家で読んでいます。話の続きが気になって、たまに授業中にも読んでしま

い先生に怒られます。

今までに読んで面白かった本は、科学探偵シリーズと、『本好きの下剋上』です。科学探偵シリーズは、不可思議な事件を科学の知識で



解決するお話で、『本好きの下剋上』は、異世界へ転生した本好きの主人公が司書になるために奮闘するお話で、マンガ化やアニメ化もされています。皆さんも良かったら読んでみて下さい。

に支館三役、分館長・分館主事と支館部員で内部の大掃除を行いました。高いところのすすを払い、窓をきれいに拭いて新年を迎える準備を整えました。

編集後記

Eスポーツ、正月の遊びにチョコ市田柿と多くの新企画を盛り込んだ新春お楽しみ会は大盛況でした。楽しい企画を考えるとともに参加の敷居を下げる工夫をすれば、まだまだ多くのみなさんに足を運んでいただ

けると実感しました。この2年間の経験がさまざまな場面で生き、役員改選期を前に今期の集大成のようなイベントができて、充実感もあります。

今のメンバーで編集する「萩の郷」は今号が最後になります。編集から配布準備まで一連の作業を担っていただいた編集委員のみなさん、原稿をお寄せ下さったみなさん、そして「萩の郷」を手に取り読んで下さったみなさん、本当にありがとうございました。



5区も少子高齢化が進み、参加人数は少なくなっていますが、本年度も盛大にどんど焼きを行うことが出来ました。伝統行事を通じて異なる世代の交流が出来た事を嬉しく思います。毎年準備に協力して頂ける皆様、本当にありがとうございます。

5区 異なる世代が交流 会長 棚田昭夫

1月5日早朝より門松集めをし、午前11時半に子ども達で無事点火しました。地域の皆様、子ども達、保護者で協力し、どんど焼きが実施できました。各々持ち寄った餅を焼き、1年間の無病息災を祈願しました。



6区 みんなの協力で 会長 唐沢恵里香



早朝、燃え上がる炎を囲んで(4区)

3区は下市田保育園が改修工事中で園庭をお借りできないため、例年通りにはできなかったとのことです。
1月19日に行われた下市田史談会の新春放談会では「学校生活の思い出」を参加者が発表。どんど焼きの思い出もあり、よその地区のおんべを取りに行ったり、逆に壊されないように夜通し守ったという話も。
昔は子どもたちだけですべてを行った行事で、「あまり大人が手を出さず、できるだけ子どもたちにやらせる方がいい」という声も出ていました。

各区育成会 どんど焼き

1月12日早朝より、たくさんの方々が集まってくださり、無事どんど焼きを行うことができました。燃え上がる炎に、今年1年平穏に過ごせるように願いをかけました。



1区南 1年の平穏願い 会長 上沼久敏

1月11日、小中学生と保護者及び地域の皆さんと準備を行い、翌朝6時に中学3年生の2名と自治会役員で点火をしました。炎は勢いよく天に燃え上がり、無病息災の祈願ができました。



2区 無病息災を祈願 会長 北沢 治

1月12日、朝6時に、6年生の点火と同時に、勢いよく炎が燃え上がりました。多くの家族がお餅を焼く姿も見られ、無事にどんど焼きを実施できました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



4区 家族で餅焼き 会長 井原 正治